社說

增稅の決斷

昨今調査中なる明年度の歳計豫算は各省よりの要求總額凡そ四億圓に達するよしにて當局者は其削減方に付き苦心一方ならずと云ふ昨年前政府が本年度の豫算を調査の際にも三億圓に及びたりとて時の當局者は其始末に苦しみながら未だ成案を得ざる中に政府の更迭を見たりき戰後財政の膨脹に隨ひ豫算調製の困難は每度のみとにして或は政府に統一の實なく各省割據の有樣を以て銘々の勝手に要求額を申出し恰も歳ブ分取の姿なるより斯る困難を來すに外ならずなど評するものもれども割據云々の事實は兎も角もとして各省の要求なるものは果して種々雜多の經費を付出して分取りの實を演ぜんとするものなるや否やと云ふに我輩の所見を以てすれば其要求は寧ろ國力增進の結果として實際、止むを得ざるの必要に出でたるものと認めざるを得ず要求の細目は固より知るを得ずと雖も何れ運輸交通教育等の施設に關するもの多きに居るみとならん是輩の計畫は國力の增進に伴ふてます〳〵擴張す可きものなるに戰後の財政を見れば大に膨脹したりと稱しながら其膨脹の原因を成したるものは海陸軍の擴張にして其他の施設に至りては以前に比して著しき相違を認めず即ち歳入二億餘千萬の大半は軍事費に支出するものにして全く軍備の膨脹に外ならざれば實際には國力增進の實あるにも拘はらず諸般の施設は毫も其增進に伴はずと云ふも可なり左れば鐵道電信電話の改良擴張を始めとして隨て其事業の爲めに人を要するが如き又物價の騰貴に進れて各種の費用の嵩むと共に官業の手段もまれども公債は內に蓄るも外に響るも餘り一時の窮策に外ならず永久鞏ひ可きに非ざれば結局增稅の外に工風なきは明白なるに國力增進、國民に負擔の餘裕あるは事實に徵して疑なきにも拘はらず其決斷に躊躇するは何故ぞや蓋し當局者の考にては民論の反對議會の向背に掛念して決斷を敢てせざるみとならんなれども若しも今日の僅に付するときは諸般の施設鬱むが如く退くが如く實際は何事も擧らずして國運の進歩を妨るの結果ある可きのみか差當り各事業の進捗の遲緩に關民の不便不利益は非常のものにして苦情百出その結局を云々して一般の望を失ふ虞多し、都內の實業家無事に經へずして次第に不平を鳴し政府は外內の輿論に堪へずして今の人民の替し難き所なれば今の人民の替し難き所なれば今の人民の替し難き所なれば